

広報

# のぼりべつ

○No. 288 ○昭和54年10月1日発行 ○編集発行/北海道登別市/総務部公聴広報課 ○印刷/中西印刷

## 主な内容

- 総合計画審議会の設置条例などを審議  
第三回定例市議会……………2 P
- 各地で進む 登別の発展を支える  
国・道の事業……………3 P
- 特集 のぼりべつの漁業……………4・5 P



## ジョギングで始まる “さわやかな朝”

美しく走っていますか

澄みきった空気のすがすがしい朝—野球やテニスなど、市内のあちこちでスポーツを楽しむ人が増えてきているようです。なかでも、気軽にできるスポーツとして、マラソンやジョギング熱が高まる一方です。これは、単なる流行としてではなく、「健康・体力づくりの最良の妙薬」として「歩く」「走る」—だれでも知っているこれらの基本運動が、改めて見直されてきているからです。

ジョギングとは、もともと「そつと押す」とか「ゆっくり押す」とか「ゆっくり進む」という意味ですが、体力づくりの上では「全身の力をぬいて、ゆっくり走る」といわれています。そのスピードは、おしゃべりしながら走る程度で、スピードやタイムを競うものではありません。あくまでマイペースで、あせらず「ゆっくり」—これが基本です。あなたもジョギングを始めませんか。

### ジョギングのフォーム

⑩ 前後左右にゆすらないように。

⑨ 力まずリラックスする。力むと肩がつかります。

⑧ 膝を前方に突き出す感じを保ちます。ぐらつくようなら、腹筋を強化。

⑦ キックしたとき、脚が真っすぐなるのが理想的。またキックのあと脚が後ろに流れないように。

⑥ 踵を前方に突き出す感じを保ちます。ぐらつくようなら、腹筋を強化。

⑤ 膝を前方に突き出す感じを保ちます。ぐらつくようなら、腹筋を強化。

④ 踵を前方に突き出す感じを保ちます。ぐらつくようなら、腹筋を強化。

③ 踵を前方に突き出す感じを保ちます。ぐらつくようなら、腹筋を強化。

② 踵を前方に突き出す感じを保ちます。ぐらつくようなら、腹筋を強化。

① 踵を前方に突き出す感じを保ちます。ぐらつくようなら、腹筋を強化。

指球部(足の親指のつけね)でキックします。

10 1979 . 1

### 第三回 定例市議会

## 総合計画審議会の 設置条例などを審議

第三回定例市議会は、九月二十一日から開催されました。

今議会に提出された案件は、報告四件と現行の市総合基本構想の見直しを進めるための市総合計画審議会条例の制定など議案六件、五十三年度水道事業決算の認定一件となっております。

それでは主な内容についてお知らせします。

報告では、石油の供給不足のあり、省エネルギーの観点から市プールを十一月一日から来年三月三十一日まで休館する報告と柳登別振興公社の第三期決算、第四期事業計画の報告です。

昭和五十三年度登別市水道事業会計決算の認定は、監査委員の意見をつけて議会の認定を求めました。

次に議案ですが、一般会計に五億六千八百七十七千円を追加する補正予算案の主な内容は、次のとおりです。

●福祉灯油支給経費二百九十一万円：老人世帯などの生活困窮者を対象に、十八歳以下を三分支給します。(一世帯当り三千円)

●老人一日湯治経費百二十五万円：六十五歳以上のお年寄りをカルルス温泉に一日招待しますが、参加者の増加で追加補正します。

●老人生きがい対策事業費五十八万円：養護老人ホーム恵寿園の一角に設置した、陶芸窯を利用しての焼物講座にかかる経費です。

●富岸小学校々舎買収事業費三億六千七百六十八万五千円：今年度

国庫補助が認められたため、柳登別振興公社から買取します。

条例の制定では、登別市総合計画審議会条例の制定について提案されました。

この条例は、今年度、登別市総合基本構想の見直しの実施にあたり、市民の意向を広く反映するとともに、広域的な視野に立った将来都市像構想を樹立するため、学識経験者、関係行政機関の職員、民間諸団体の代表者など、委員五十人以上で構成する審議会を設置するものです。

また、条例の一部改正では、関係法令の改正により、登別市非常勤消防団員の退職報償金の支給に関する条例の一部改正が提案されました。

このほか、教育委員会委員の任期満了により、内藤秀吉氏を再任する人事案件が提案されました。



市議会のもよう

### 慎んでおくやみ 申し上げます

故 堅 田 久次郎氏

勲五等双光旭日章、登別市功労者、登別市名譽消防団長などの表彰を受けられていた、堅田久次郎氏(八四歳)(登別温泉町七八)は、去る九月十四日、急性肺炎のため逝去されました。故堅田氏は、大正二年、幌別村(当時)消防組奉職、以来一環して消防活動に貢献され、昭和三十八年に登別町(当時)消防長、同四十年に初代消防署長に就任。信頼される消防体制づくりに尽力されました。

### わが家の省エネルギー

## 限られた資源を大切に

市では、これまで私道の舗装や排水の整備を自治会や期成会などで行なう場合、市民環境整備の一環として、助成制度を行なってきました。

**ご存知ですか**

### 私道助成制度

さらに、今年七月一日からは、住民生活の基盤である道路網の整備促進をはかるとともに、市民の負担を軽くするため、これまでの事業経費の三分の一の助成を三分の二に、また助成金の限度額を百万円から二百万円に改めました。窓口は、土木課維持係(電話5局2111内線270)です。

世界の当面のエネルギー情勢はイランの政変にともなう大幅な原油生産削減で、きわめて不安定であり、わが国のエネルギー需給はますます厳しさの度合いを強めていくという心配があります。

このため、さきに開催された国際エネルギー機関(IEA)理事會において、石油消費の削減を行なうことを合意。わが国でも約五%年間約千五百万キロワット以上の削減をめざす、石油消費削減対策を決定し、その周知徹底が図られています。

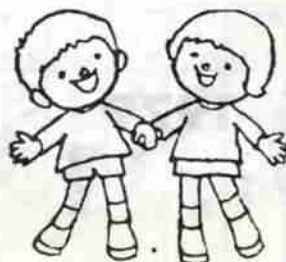
その内容は、次のとおりです。

●事務所などや一般家庭向けに暖房温度(十九度以下)や冷房温度の調整、窓際照明の消灯マイカー通勤・通学・買い物の自粛、テレビなどのスイッチをこまめに切ることなどの呼びかけ。

●工場向けに燃料転換、エネルギー使用の合理化などの指導。

●その他ガソリンスタンドの休日休業ネオン点灯時間の短縮、テレビ放送終了時刻の繰り上げなどの指導。

## 幼稚園の保育料を補助します



市では、私立幼稚園に幼児が通園している保護者の経費負担の軽減をはかると、幼児一人に対して、今年七月分から月額二千円の補助金を交付することになりました。

●対象者 市内に住む幼児で、私立幼稚園の費用を納付している保護者です。

●補助金の申請 保護者は、通園児の在籍している幼稚園を通じて、補助金交付申請書を提出してください。

●補助金の交付時期 一期分七、八、九月分を九月下旬に交付予定

●二期分十、十一、十二月分を十二月月中旬に交付予定

●三期分一、二、三月分を三月上旬に交付予定

※詳しくは、市教育委員会学校教育課幼児教育係にお問合わせください。(電話5局2111内線347)



### 各地で進む 登別の発展を 支える国・道 の事業

登別漁港 昭和五十七年度に整備拡張が完了する、第六次計画が総事業費十九億二千万円で実施されています。

現在、東防波堤新設工事、船揚げ場の改良工事が進められています、今後さらに西岸壁百六十呎

の新設が計画されています。

● 室蘭土木現業所 ●  
国道36号線拡幅事業 幌別町から大和町までの延長千六百七十七メートルで、現在、橋の設置工事を含む、四車線への拡幅工事が進められています。

総事業費は九億二千万円で、事業完成は十二月上旬の予定です。

● 室蘭開発建設部 ●

**▲完成予想図**  
新登別大橋新設 札内地区と新登別地区を結ぶ上登別・室蘭線は新登別大橋の設置を含め総事業費22億円、昭和59年開通を目指して工事が進められています。

これが開通しますと、室蘭から登別温泉の距離も、ぐっと短縮されるほか、産業や観光、さらに生活道路として、第二国道的な役割を果たすこととなります。

＝室蘭土木現業所＝

## 10月1日から 新体制でサービス開始

### 登別電報電話局

めざましい発展を続けている登別市にふさわしい電話サービスの充実をはかるため、昨年から登別電報電話局社屋の新築をはじめ、通信設備の充実、諸体制の整備を進めてきましたが、十月一日(月)から新しい体制でサービスを開始します。

十月一日からは、施設設備の保守などを室蘭電報電話局から切りはなし登別電報電話局に全面移管して行なわれます。

このため、新社屋での業務はこれまでの窓口業務に加え、電話の故障の受付(一―三番)、電話の架設、移転工事など業務全般を取り扱います。

また、この機会に登別温泉電報電話局の窓口業務を十月一日から登別電報電話局に併合し、市内全城を対象とした電気通信サービスの一元化とともにサービスの充実をはかっていくことにしています。



「困りごと、心配ごと」など  
人権問題は、人権擁護委員へ

「人権擁護委員」とは、地域社会の実情に明るく、人権擁護に理解のある人を、市長の推選で、法務大臣が委嘱した方々です。

主な仕事は、人権意識を高める活動をしたり、われわれの人権が犯されないように常に監視し、人権を侵害されている人がいた場合には、すみやかに調査をし、必要な救済手段をとるなど、住みよい社会にするための奉仕活動をしています。

困りごと、心配ごとなどで人権問題に関する場合は、人権擁護委員に気軽にご相談ください。

- 今年十月十四日から二十日まで、行政相談週間です。
- 行政相談は、国の仕事について▽テキパキやってももらえない▽どうしてよいかわからない▽不親切な感じがする▽どうにかしてほしい▽こうしたらよいと思うなど、役所のことの苦情を受け付けます。
- たとえば、私たちの生活の中で恩給や年金、国税、郵便、道路、河川、生活保護等についての苦情を行政相談委員にご相談いただけます。親身になってお話しいただけます。直接口頭でも、簡単なものは手紙、電話でも結構です。
- 行政相談委員 高野定治(住所 市内富士町一丁目十九番地二、電話五局二六四九)
- 河野敏文さん 中央町一丁目一六ノ六 電話五局二四三九
- 藤田隆雄さん 登別東町二丁目二二ノ一 電話三局一〇〇九
- 河野克敏さん 登別温泉町一〇九ノ一〇 電話四局二七一九
- 赤塚幸吾さん 常盤町三丁目九ノ四 電話五局三二二九
- 星 馨さん 新生町五丁目二〇ノ二一 電話六局八二八六

### 行政相談

- ご寄贈ありがとうございます (敬称略)
- 社会福祉協議会(愛情銀行)へ
- 現金寄贈 安藤照、藤ホームストア労働組合、東條佐市、奥秋健子、山名建設、三ツ浦洋一、渡辺秋男、匿名一件
  - 物品寄贈 大丸藤井興室蘭営業所、山陽スコット御、斎藤光男、徳間ビュートホテル、山田ミツ、佐藤之俊、鎌田、川野、匿名四件
  - 古切手寄贈 田村栄治、登別モーターズ、木村ノブ子、幌別東小学校、幌別西小学校一年四組、川畑さな子、渡辺吉次、尾崎光一郎、帝飯高庄ガス株式会社、国立登別病院患者一同、東條佐市、室蘭開発建設部、藤上田商会、登別市役所



## 全国防犯運動

(10月11日～20日)

- 両隣、互いにかけて合う声とカギ
- 自転車は、カギと名前がよい見張り



港を満船色で埋め、にぎやかに  
行なわれた登別漁港まつり。



昨年を上回る人出でにぎわった漁港まつり。

今年で二回目を迎えた登別漁港まつりも、大ぜいの人を集め、九月八日・九日の二日間にわたり盛大に開かれました。  
しかし、登別の基幹産業の一つである水産業のようすは、市民の方々にはあまり知られていないようです。  
そこで本号では、二百海里規制や韓国漁船問題に加えて、燃料の値上りなど厳しい時代を迎えながらも、ほっき貝の養殖やさけ、ますのふ化放流計画など、育てる漁業に取り組む登別の水産業の姿をいろいろな角度からご紹介いたします。

特集

# のぼりべつ の漁業



水揚げされた毛がに。(登別港荷さばき所)

## 資源不足で 伸び悩む水揚げ

登別・白老・虎杖浜の三つの漁業協同組合が利用している登別漁港は、昭和二十五年から整備計画がスタートし、現在のような漁港形態となったのは、昭和四十九年の副港完成後です。  
登別市内では、第一種漁港の登別漁港と富浦漁港がありますが、一少未満の船体巻き揚げに、常時経費がかかるのと同時に、すけとう漁への漁場区域の拡大で、船体が十少級に大きくなってきたことから、停船ができる内陸しゅんせつによる登別漁港の整備拡充がぜひとも必要になり、国・道費の投入による第二種の漁港整備が進められています。

現在、昭和五十七年度に完了する、第六次計画が総事業費十九億二千万円で実施されています。  
登別の漁業は、登別漁港を拠点として、主にすけ、かれい、毛

(単位トン・千円)

年度	51年度		52年度		53年度		漁期
	水揚量	金額	水揚量	金額	水揚量	金額	
すけとうら	3,077	183,988	4,704	417,499	3,885	560,670	10月から翌年3月まで
かれい	48	13,187	53	16,816	54	13,912	3月から11月まで
毛がに	33	18,323	53	41,644	69	71,050	9月から翌年4月まで
ほっき貝	32	20,145	24	15,239	40	26,883	7月から9月まで
めぬけ	31	23,238	40	36,803	28	21,860	4月から9月まで
その他	191	82,752	168	81,037	122	49,104	随時
合計	3,412	341,633	5,042	609,038	4,198	743,479	

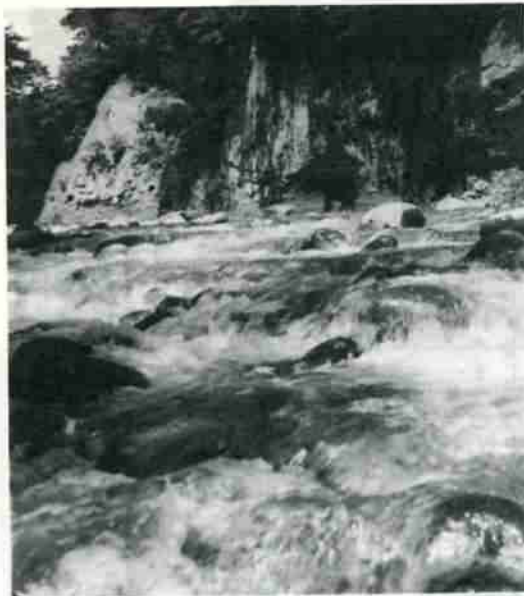
がに、ほっき貝などを中心に水揚げしていますが、ここ数年は、資源不足が重なり、水揚げ量も減少の傾向をたどっています。  
登別港で水揚げされる主な魚種の最近三年間の動向は、表のとおりです。

これら水産物は、いったん登別港の荷さばき所に陸揚げされ、そこで仲買人のセリにかけられ、そ

れを各小売商が引き取り、それから消費者へという経路をたどっています。  
このように、いろいろな流通経路をたどって消費者に届くため、その日の漁獲量によっては、高い魚を購入しなければならぬ場合もあるわけです。  
こうした中で、魚介類の安定した供給をはかるため、市では、登別漁業協同組合とタイアップしてほっき貝の種苗生産、放流事業、さらにさけ、ますのふ化放流計画などを進めており、着々とその成果が現われています。

## 登別漁港まつり

今年も九月八日・九日の両日にかけて、第二回登別漁港まつりが盛大に開かれ、幸い晴天に恵まれたこともあり、昨年を大きく上回る大ぜいの人々が訪れ、登別港も一段とにぎわいました。



さけ・ますのふ化事業で、30年ぶりにクローズアップされた登別川。(河口から約3キロ上流)

### 「ほっき貝」の宝庫をめざして

このまつりは、昨年、登別市・白老町の漁業関係者や登別・虎杖浜地区の商工関係者が協力し、登別港を中心とした地場産業の発展と漁業者の勤労意欲の向上をはかることを目的に開催されました。

この日は、登別港に着岸している全ての船が大漁旗を飾りつけ、海上パレードを行なった後、岸壁でこれらの船の安全を祈って、安全祈願祭が行なわれました。

また、会場近くでは、いろいろな催し物のほか、海産物の即売会が行なわれ、毛がに、ほっき貝、塩さけなどが市価よりも相当安い

ため、どれも飛ぶように売れ、二日目の予定時間を持たずに売り切れるという、関係者にとっては最良の日となりました。

これからも、このまつりを一層盛り上げ、長く続けていこうと実行委員会では張り切っています。

登別市沿岸は、古くからほっき貝の生息地として有名でしたが、乱獲などがたりたり、次第に資源が不足してきています。

このため、漁民も自主的な規制を行ない、資源の確保に努める一方、ほっき貝の増殖をはかるため四十九年度からほっき貝の放流を行なっています。

この事業は、市の助成を受けながら、登別漁業協同組合が中心となり行なっているもので、ある程度成長したほっき貝を購入し、沖合い約二キロの鷺別から登別までの禁漁区に放流しています。

これまでの資源調査では、稚貝の成長も順調で、資源も徐々に回復してきています。

さらに同漁協では、自前で稚貝を生産して放流しようと、昭和四十八年から道内でも初の試みとい



富浦漁港のほっき貝飼育施設で、量産化を目指して研究に励む、登別漁協の志賀参事。

### さけ・ますのふ化放流を登別川で

われる、ほっきの人工産卵、ふ化に取り組み、五十一年頃からある程度の成果がでてきました。

五十二年からは、市が助成をしながら本格的な生産事業を進め、昨年は約五万粒と大きな生産目標に向けて関係者は努力を続けています。

この人工育成が順調にいくと、資源量の増大が見込まれ、今後の成果が期待されています。

二百海里問題を契機として打撃を受けている漁業を、自らの努力でおこなおうと、登別漁業協同組合では、市とタイアップして、三

十年ぶりに、さけ・ますのふ化放流事業の復活に取り組んでいます。五十二年度から水産庁のさけますふ化場千歳支場の協力で、市内の登別川、幌別川、富岸川の三河川について水質などを調査したところ、登別川が最適河川であることがわかりました。

### 水産加工

調査によりますと、登別温泉からの下水、排水が水質をよこしているらしいものの、天然繁殖が今も継続している点などから、ふ化放流事業は十分有望であるという結果が出たものです。

この結果を受けて、現在、ふ化放流に必要なわき水、さらに水質などの調査を続けており、来年春には試験放流を予定しています。

このほか、漁業の第二次産業として、市内では、現在十一業者が水産加工を営んでいます。

主な加工製品は、すきみすけ塩すけ、塩かすのこなどがあり道内一円に出荷しています。

水産加工業も漁業経営と同様に二百海里問題以降、原料不足から高い仕入れを余儀なくされ、加えて最近の石油不足などからさわめて厳しい経営が行なわれています。しかし、自から加工設備の近代化をはかり、良質の加工製品を製造しようと、懸命な努力が続けられています。

### 学校めぐり ⑦

### 虫菌のない子をめざして



静かな落ちついた環境の登別小は、明治二十五年に創立され、今年で八十八年を迎えるという伝統のある学校です。

恵まれた自然環境の中を登別、中登別、富浦の各地区から、現在六百五十九人が通学しています。

伊藤重敏校長は、「明朗で素直な児童ですね。ただ、たくましさが必要です。一般的に指摘されることですが、」と話しながら、教育の目標をあげてくれました。

「丈夫な体と、豊かな心をもって、たくましく生きる子」これらの基礎となる、健康面の充実を力を入れています。

同校では、道内唯一の「虫菌予防」の文部省研究推進校として、学校歯科医の堅田先生の指導と協力を得て、昨年から実践活動に取り組んでおり、十一月二日には、全道各地から教職員関係者が集る公開研究会が行なわれます。

これまでの主な取り組みは、アンケート調査、歯の汚れ具合を確かめる歯垢テストや虫菌予防に最も効果的なブラッシング指導を行ない、現在は、給食後のブラッシングを全校一斉に行

### 登別小学校

なっています。

このほか、ユニークな学級指導に「虫菌の木」や「歯みがきカレンダー」があり、児童の意識高揚をねらって作られたのが「虫菌の木」で、各教室に木の幹だけを描いた紙をはりつけ、虫菌の治療完了者は木の実として枝に取りつけられるようになっています。

児童の中には、「早く治療して木の枝に取りつけたいな」という声もかなりあり、虫菌に対する関心が深まっています。また、歯みがきの習慣化をはかるため「歯みがきカレンダー」を作成しています。

これは、朝と夜のブラッシングの後に、毎日ぬり絵の要領で記入していき、一カ月後には、思い思いの色にぬられたカレンダーが完成するというものです。

虫菌の予防は、家庭の協力も必要です。このため、歯科保健推進委員会では機関紙「ミュータンス」を発行、父母との交流をはかりながら、一体となって、児童の健康保持につとめています。



給食後、全校一斉にブラッシングを行なう登別小の児童

登別の川を訪ねて I

幌別川とさけ



39

「金の音がさらさらと美しく鳴りひびく川」カニサンベツは、聖なる山カムイヌプリの北方から流れる幌別川の別名で、上流の山奥には、その名のとおり金・銀・銅の埋蔵された鉱脈が走っていました。

またヌプリベツ（登別）は「濁った川」でなく「神の霊力のある川」で、上流はクスリエサンベツといひ「薬湯が流れる川」という意味です。

登別市内を流れる川も、時代とともに大きく変化しましたが、多くの歴史とロマンをもつ、これら郷土の川を訪ねてみましょう。

登別市内を流れる川も、時代とともに大きく変化しましたが、多くの歴史とロマンをもつ、これら郷土の川を訪ねてみましょう。

カムイヌプリの裏側、西の麓別岳や伊達天狗山、壮麗方面の山々に多くの支流をもつ幌別川は、原名ポロベツ（大きい川）の名のとおり、広大な幌別の平野をつくりこの地方では、最も雄大な川として江戸時代から親しまれてきました。

川の両岸は、うっそうたる森林におおわれ、水量も豊かで、秋にはさけやますの大群が川をのぼり川の近くにはコタンがあつて、丸木舟で川を行き来し、さけやますなどの魚や鹿をとって生活していました。

下流の水は深いのですが、川瀬の見える上流の川底には、きれいなカムイヌプリの影を映したこの川は「カニサンベツ」という名でよばれていました。

ました。——それから以後「カニサンベツ」から「ポロベツ」に呼び名が変わつたのだと、伝説で語られています。

幌別という地名や川の名は、道内で浦河町、枝幸町、後志などの地方にもありますが、やはり大きな川を意味しています。

また、「幌別」という字は、江戸時代には統一されていなく、保侶別、保衣別、母衣別、幌別などという音読みや、当て字も使われ今の幌別になったのは明治二年八月、蝦夷地を北海道と改め、十一国八十六郡がおかれた時からです。

昔の幌別川はどのような姿だったのでしょうか。

川の流れる幌別ダムから川下にかけて大きく蛇行し、その両岸は太古から続くうっそうたる原始林や深い草におおわれ、大木の林が海岸近くまで続いていた。現在の桜木町二丁目、新川町二丁目の一部は、その川を埋めた跡です。

「幌別の母なる川」といわれたその頃は、時には怒り、川をはらんさせましたが、こえた大地をつくり、開拓村の農業を発達させました。

また九月から一月にかけては、さけの大群が川上をのぼり、古くからコタンの人達の冬の生活には欠かせない鹿の肉とともに、さけが大量に食前を満たしてくれました。

江戸時代末期には、次第に人口も増えコタンの人達も約二百五十を数え、幌別川の東部、中央町三丁目、幌別町一・二丁目を中心に住んでいました。

そして生活の中心は、農業も行なわれていたが、やはり、さけ・ますを中心とした漁業でした。これらのさけが明治初期に幌別川をのぼっていた状況を、宮武藤之助の著書「丈草の記」に、次のように書かれています。

「秋ともなれば、幌別川にさけの大群がはらんし、ほとんど川の底を見ることができないという日もしばしばある。この時は、村中われもわれもと総出で川中に入りさけをとるのである。」

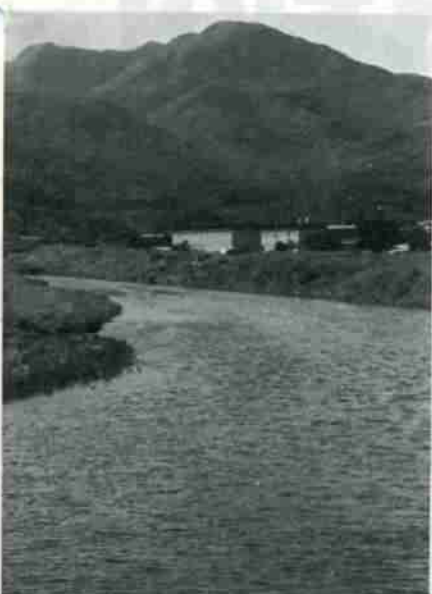
はじめは手づかみにとつたが、そのうちに三本くわをもち出し突き刺しては陸へ投げあげる。川中の足には、さけの頭が、胴体がぶつかり、魚のためにつまずいたり、すべつてしまふという具合で、その群の見事さ、すさまじさは驚くばかりである。

さけの腹を裂くと見事な筋子がぞろぞろと出るので、当時の人達は「ぞろ子」とよんでいた。食事の雑炊の中には「ぞろ子」を真紅になるほどたくさん入れて煮こんで食べる。それは、きわめておいしいもので、考えるに誠においしい食べ物であるが、開拓当時の人達にはおいしい食物とか食べ方についてなまやさしい考えのものでなく、このような食べ方が、ただ腹をみたすという方法でした」と書いてあり、開拓の苦闘もうかがえます。

このように明治初期の幌別川には、九月から一月頃までさけは随分のぼつたようです。盛産期には、さけが川にはらんするといふ表現を用いるほどの大群や、「ぞろ子」がぞろぞろといふのは、さけの産卵で卵が完全した状態のものは卵がバラバラになるので、今日の「イクラ」のことをいいますし、卵がそのままバラバラにならぬものは筋子ですが、とにかく魚も大きく、産卵期のさけのすさまじさを表現しています。

江戸時代には、のほりべつ、おしべつ、ほろべつを含めて幌別場所といいますが、場所の生産物は鹿の皮、干しさけ、さんま、にしん、熊の毛皮、熊のきも、かわうその皮などの名前が多く、特に幌別川でとれる漁は、さけ、ます、チライ（イトウ）、うぐいなどですが、やはりさけとますが生産物で一番の利益をあげています。

（登別郷土文化研究会）



「かつては、さけ・ますがのほり、川底が見えないほどであった」という幌別川。

新着図書案内

市立図書館 5局4324



- 母と子の契約 青野聡 ○華々しき宴のあとに 大城立裕
- 冷蔵車より愛をこめて 阿刀田高 ○翔べない女の年輪 吉田知子 ○愛についてのデッサン 野呂邦暢 ○仔犬のいる部屋 江藤淳 ○つづりかたの巴里 高峰秀子 ○山河太平記 陳舜臣 ○ムツゴロウの野性教育 畑正憲 ○陶芸口伝 加藤唐九郎 ○札幌放浪記 更科源藏 ○光琳の櫛 芝木好子 ○桔梗の旗風 南條範夫 ○食卓のない家 円地文子 ○同行百歳山口瞳 ○空白の五分間 三輪和雄 ○癌を治す 中山恒明 ○少女ソフィアの夏 トーベ・ヤンソン ○母原病 久徳重盛 ○激烈なる漂流者 田原総一郎 ○死骸様 森村誠一 ○ナガサキの証言 鎌田定夫 ○旅路 池波正太郎 ○胡蝶の夢 司馬遼太郎 ○印度放浪 藤原新也 ○東本願寺の変 上之郷利昭 ○落ちこぼれ家庭 藤原審爾 ○遙かな坂 夏樹静子 ○イギリスの女性たち 秋島百合子 ○世界中がピーターパン とぶカメラマン 山田昭夫 ○芭蕉の恋句 東明雅 ○水原津島佑子 ○郡司草 能戸英三 ○風の歌を聴け 村上春樹

# 文化短信

全道から優秀な作品を集めた、見ごたえのある美術展、写真展が開催されます。

多数の方のご観覧をお待ちしています。

〈全道美術展〉  
▽日時 十月十日午前十時～十月十六日午後五時

▽会場 中央公民館

▽入場料 無料

〈全道写真展〉  
▽日時 十月十九日午後一時～十月二十一日午後三時

▽会場 中央公民館

▽入場料 無料

## 第五回チャリティフラワーデザイン展

文化協会手芸部では、日頃の練習の成果を発表するとともに、作品を即売して、益金を社会福祉協議会に寄贈することになっています。多数のご来場をお待ちしています。

▽日時 十月五日～七日（午前十時～午後六時三十分）

▽会場 ニューダイヤデパート 三階

▽入場料 無料

## お茶の講習会においでください

文化協会茶道部では、例年文化祭行事としてお茶会をおこなっています。

今年も多くのおみなさまに気軽に参加していただくため、次のとおり講習会を開催します。

この講習会は、「いただき方」の最も基本的な作法を、お互いを知ることを目的としていますのでぜひ気軽に参加してください。

▽日時 十月十五日 午後一時～三時

午後六時～八時

十月二十二日 午後一時～三時

午後六時～八時

▽会場 中央公民館 二号和室

▽受講料 無料

▽会費 一回五十円（茶菓子代）

▽申し込み期日 十月十三日まで

▽申し込み・問い合わせ先 市教育委員会社会教育課（電話5局2111内線349）

※申し込みは、都合のよい日時で申し込みください。

# 今年が国民年金の誕生二十周年です

二十歳から加入する国民年金が生まれて二十周年になりました。今年各地でその祝典や催しが行なわれています。

日本の国民は、八つの公的年金のどれかに加入することを法律で定められていますが、国民年金は他の年金制度に加入していない農林漁業、商工、サービス、自由業などの自営業者と、従業員五人未満の事業所に勤める人と、それらの家族が加入する年金制度です。

この国民年金の加入者は、制度の生まれたころは千万人台でした。

が、今年には二千七百八十万にもふえて、公的年金加入者のトップを占めています。

これは、国民年金が誕生しらい毎年改善をつづけ、昭和三十六年ごろの老齢年金月額（二十五円納付の場合）二千元が、今では三万円九千二百二十五円と、二十倍近くも上がったばかりか、障害・母子など多くの種類の年金がのきなみ二十倍にもふえたこと。また、四十九年いらい、物価スライドの仕掛けが働いて、物価の上がつた分

だけ、年々、年金が上がるようになったことなどが刺激剤になったのです。

あなたの家庭（隣近所に、この国民年金にまだ加入していない方はいませんか。もし、いましたらぜひ加入の手続きをとるようにおすすめてください。

幸福はのがさずに、特に老後が長くなった日本人にとって、年金は大きいささげになります。

加入の手続きは簡単で、印鑑を持って市役所国民年金係が各支所の窓口へおこしくください。（今までの年金に加入して、国民年金へ移ろうとする人は、年金手帳も持参してください。）

## 衆議院議員総選挙の投票日は 10月7日です



第三十五回衆議院議員総選挙は、九月十七日に告示され「十月七日投票日」となっています。国民として与えられた貴重な権利です。キケンなどしないで正しく行使しましょう。

私達で明るいキレイな国づくり

## 国民健康保険税第二期の納期です

「国保税」をきちんと納めることは、あなたの義務です。国民健康保険の運営は、みなさんが出し合ったお金でまかなわれています。今、登別市の国保財政は火の車で、みなさんが使う医療費の支払いに四苦八苦の状態です。あなたの支払う国保税は、国保会計の主財源です。滞納されている国保税、本年度通知され、納期限がきている国保税を今一度確認して、納めていない方は早急に納めてください。

◎医療費は激増しています  
医療費は激しい勢いでふえつづけています。

昭和五十三年度では、一人平均一年間で九万六千円、老人で五十四万六千円の医療費が使われて

## 「国保税」の納入はお済みですか

これは、五年前に比べて一般で二・二倍、老人で二・八倍にもなっています。

◎今日からはじめる健康づくり  
今、あなたは健康づくりのため何かしていますか。

散歩、体操、マラソンなどあなたの体にあった運動は、心がまえしだい、いつでも簡単にはじめられます。

栄養のバランスのとれた食生活十分な休養と睡眠、これもかかせない健康づくりの一つです。

健康への日頃の努力は、国保の一員である、あなたの努めです。さあ、あなたの家も、今日から健康家族の仲間入り、明日からは遅すぎます。

## ヒグマに注意

### 室蘭営林署

すみぎった空気と実りの秋を迎え、そして一段と紅葉がはえわたる季節になりました。

この時期は、みなさんがキノコ取り、登山など、野や山へ出かける機会が多くなります。

例年、夏の間山奥にいた「山オヤジ（ヒグマ）」が、冬眠前のエサを求めて、人里近くに出没します。しかも、食欲が旺盛で性質も狂暴になっているのが特徴です。

キノコ取りなどで国有林に入るときは、ヒグマによる事故がないようにするため、次のことを守ってください。

◎ 最寄りの営林署、担当区事務所、事業所に立ち寄り、入林者名簿に記入し、ヒグマについての情報を聞いてから入林しましょう。

◎ できるだけ二人以上で行き、一人歩きはやめましょう。

◎ 昼食後の残飯などは、持ち帰りましょう。

◎ 雨の多くなる時期ですので林道上に土砂が崩落したり、欠陥することがありますので注意しましょう。

◎ このような危険か所や、ヒグマに出あったりした時は、下山後営林署か担当区事務所にお知らせください。

赤ちやん

(三カ月児)

相談

▽内容 医師による診察、計測、生活指導、栄養指導
▽用意するもの 母子健康手帳、換えオムツ、バスタオル

▽日程

○10月24日：中央公民館(受付) 12時15分～12時30分、対象/中央地区の昭和54年7月出生児
○10月25日：警別公民館(受付) 12時～12時15分、対象/警別地区の昭和54年7月出生児
※当日の終了時間は、三時頃になります。

「人の動き・物の動き」の調査にご協力ください

私たちが住んでいる登別市を含む道央圏では、この数年、人口・産業の都市集中で、人や物資の移動が多くなつて、各地で交通渋滞、交通公害などの社会問題が起きています。

これらの問題に対処するため、道央圏物資流動調査協議会では、

公庫住宅資金の受け付けが始まる

住宅金融公庫では、五十四年度第二回個人向け住宅建設資金の融資を次の要領で行ないます。
▽受付期間 十月一日～二十七日
▽融資条件 自ら住むための住宅で同居する世帯員のある方。土地の準備ができています。
▽限度額 木造住宅(八十平方メートル以上百二十平方メートル以下)四百五十万円。

「人の動き・物の動き」を調査し将来の都市交通計画に役立てることにしました。市内では、百三十二事業所が対象となっています。調査対象事業所には、直接同協議会から連絡がありますので、ご協力をお願いします。

休日・夜間の急病は

〈当番医か急病センターへ〉
休日や夜間、急に発病した市民のために、急患診察医(当番制)と、室蘭登別急病センターが開設されています。
次のことに注意してご利用ください。

●急患診察医

急病センターの診察受付時間の開始までの間、室蘭・登別地区の医院などが当番制で急病患者の診察を行なっています。
当番医については、新聞に掲載されていますので、利用されるときは新聞をお確かめください。

診察時間 平日：午後六時～九時
土曜日：午後一時～五時
日曜・祭日：午前九時～午後五時

●急病センター

断熱構造化等の工事：三十万円
○重度の精神薄弱者(住宅部分の床面積が九十平方メートル以上)と同居の場合：五十万円
○六十五歳以上の老人と重度の精神薄弱者、または五人以上の親族が同居する場合(住宅部分の床面積が百平方メートル以上百五十平方メートル以下)：百万円

急患診察医の診察後は、室蘭登別急病センターが開設されています。利用されるときは、次のことにご注意ください。
※保険証を必ず持参すること
保険証を忘れると、全額自己負担になりますので注意してください。

急患診察医の診察後は、室蘭登別急病センターが開設されています。

不用品ダイヤル市

5局2111内線257

ゆずってください(買い)

ダブルベッド、うば車(二人用)
婦人用自転車、オートバイ(50cc)
足踏式オルガン、洗たく機、電動ミシン、長火ばち、階段ガード
おわけします(売り)
シングルベッド、三点セット(長いす、テーブル)、洋服ダンス、応接四点セット(いす三個、テーブル)、石油ストーブ、バスオール、ガス台、電話機

畜犬の登録と 狂犬病予防注射

秋の畜犬登録と狂犬病予防注射を、次の日程で行ないます。
犬を飼っている方は、この期間内にもれなく受けてください。
また、春に登録できなかった方は、必ず登録と予防注射を受けてください。

▽登録(年一回)
生後三カ月以上の全ての犬が対象になります。
○登録料 一頭 二千円
○注射料 一頭 千五百円
期間内の応診による注射の場合は、別に応診料(五百円)が必要です。

▽狂犬病予防注射(年二回)
生後三カ月以上の全ての犬が対象になります。
○登録料 一頭 二千円
○注射料 一頭 千五百円
期間内の応診による注射の場合は、別に応診料(五百円)が必要です。

※登録および予防注射をしないで人畜に危害を加えた犬は、殺処分になることがありますので、必ず受けてください。
犬についての問い合わせは、環境衛生課(電話5局2958)へご連絡ください。

Table with columns for dates (10/16 to 10/17), times, and implementation locations (実施場所) for dog registration and vaccination.